

- #バイオサイエンス #生態系
- #植物 #発生・神経・脳
- #生体分子・遺伝子・細胞
- #バイオテクノロジー



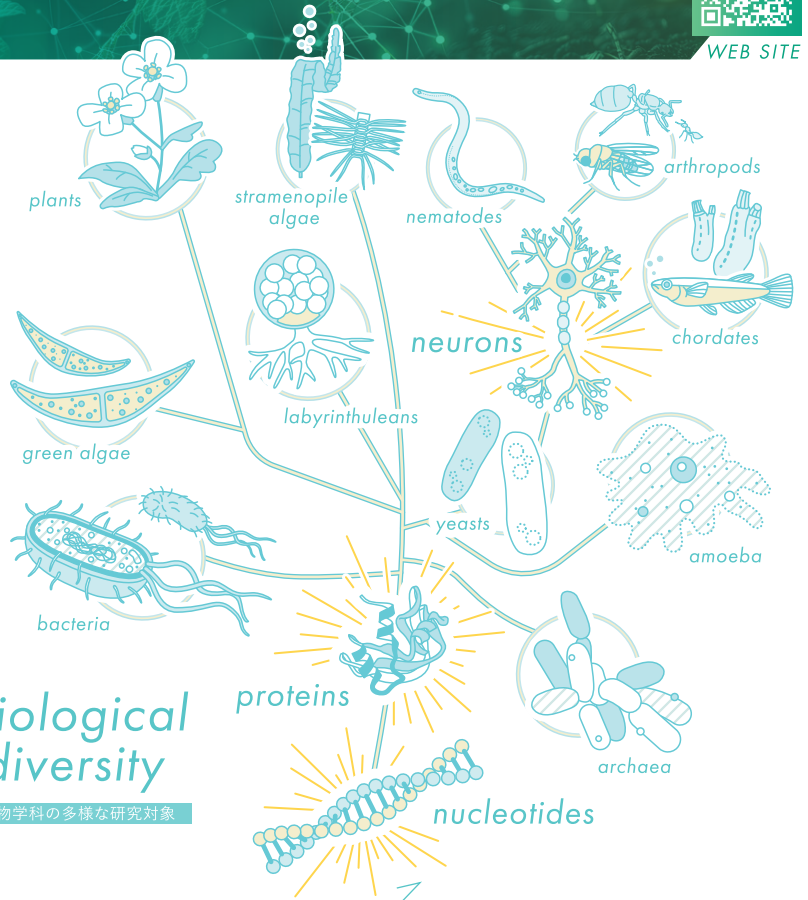
WEB SITE

生物学科

SOCIAL ISSUES

「生命の謎」の探究を通して ヒト、生物、環境の諸問題に対応

微生物の世界から生命現象の大きな仕組みまで、
生命の探究が諸問題の解決に役立っています。



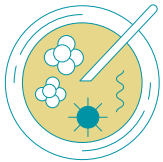
社会課題に応える

注目WORD



▶ 環境保全

地球上の自然環境や生態系を保護し、持続可能な状態を維持



▶ 生物学

植物、動物、微生物などさまざまな生命に起こる現象を研究



▶ サイエンスリテラシー

科学的知識を活用し課題を明確にして結論を導き出す

Biological diversity

生物学科の多様な研究対象

甲南大学がめざす

進化POINT

1 多種多様な生物の美しさと謎を 探究するグローバル人材を育成

生物基礎から段階的にステップアップしながら高度な「現代生物学」を学ぶとともに、ネイティブ教員による科学英語の学びや留学プログラム、自主実験プログラムも実施。環境、生物多様性の視点から生物を研究し、探究する理系グローバル人材を育成します。

2 社会から強く求められている 「環境」「健康」の研究を強化

1年次から研究環境に触れ、臨海実習を中心としたフィールドワークで生態系を体感。生物の飼育、培養施設や最先端の解析機器を駆使しながら、最新のバイオテクノロジーを学びます。卒業研究では学会発表も経験。研究力、プレゼンテーション力を磨くことができます。

植物の謎めいた脂質を解明し、機能性素材としての実用化をめざす

今井 博之 教授



その他
研究
PICK UP



シンプルな動物を使って、感覚と記憶のメカニズムを解明する

久原 篤 教授

世界を変える 研究 PICK UP



本多 大輔 教授

系統分類学研究室

有用な単細胞の菌様原生生物を解析し、 産業への貢献をめざす

DHAなどの有用物質を高濃度に蓄積する原生生物「ラビリンチュラ類」に着目。バイオ燃料や医薬品など産業への応用や、この生物群が魚類のDHAの蓄積にどれほどの影響力をもっているかについて、環境DNA分析などから海洋生態系の解明に取り組んでいます。

研究分野 多様性生物学 / 分類学 / 微生物生態学



左:ラビリンチュラ類の光学顕微鏡写真
▼右:黄色に蛍光染色した脂質

